

2010 年度卒業研究第二回中間発表会の開催について

4 回生担任 香川雄一

1. 発表会

- ・日時： 2010 年 9 月 21 日（火）13:10～18:00
2010 年 9 月 22 日（水）13:10～17:00
- ・場所： 両日とも交流センター研修室 1～3
- ・発表時間：発表は、一人 5 分間、質疑応答と助言をその後の 5 分間とし、一人あたり計 10 分とする。発表時間を厳守すること。
- ・発表の内容：発表要旨と同様の内容を簡潔に発表すること。

2. 発表要旨

指導教員より発表を許可された者は、2010 年 9 月 16 日（木）13:00～15:00（厳守）に、指導教員が押印した「卒業研究第二回中間発表 許可書」とともに発表要旨を B2-209 室に提出する。分量は A4 横書き 2 枚（片面モノクロ印刷）とし、書式は次の通り（学科 HP に掲載している「要旨記載例.doc」をダウンロードして使用すること）。

< 最初の書式設定 >

* MS-Word で、まず次の設定にする。

- ・段組 1 段（デフォルト）
- ・字体・サイズ MS 明朝 + Times New Roman, 10 pt
- ・文字数・行数 48 文字×50 行, 字送り 10 pt, 行送り 14.55 pt
- ・余白 上下左右とも 20 mm
- ・本文 行間 1 行（デフォルト）
- ・ページ番号 つけない

< 要旨全体の注意 >

- * 英数字は半角とする（後出の大項目の項目番号のみ全角）。
- * 句読点は、「.」と「,」（全角）を用いる。
- * 提出前に必ずモノクロ（白黒）で印刷し、判読できない箇所（図表含む）がないことを確認すること（カラーなら判読できるが、モノクロ印刷では判読できない場合があるので）。

< タイトルと氏名等の書式 >

- * 1 行目の中央に、タイトル（MS ゴシック + Arial, 12 pt）
- * 2 行目の左端に 研究室名・学籍番号・氏名（MS 明朝, 10 pt）を記載。
- * 1 行あける。

< 本文の書式設定 >

- * 段組を 2 段に変更（境界線は引かない）。このとき、
 - ・文字数・行数 23 文字×50 行, 字送り 10 pt, 行送り 14.55 pt とする。
- * 本文は、2 段組で記述する（段の幅 23.03 字, 間隔 2.13 字）。
- * 以下、次の大項目の順番に記載
 1. 背景・論点
 2. 研究の目的・意義
 3. 研究方法
 4. 前回発表以降の進捗状況
 5. 今後の予定
 6. 参考文献
- * 大項目は 10 pt の MS ゴシック + Arial, 項目番号は全角にして、直前を 1 行あける。
- * 中項目が必要な場合は、(1), (2), (3) などとし、さらに少項目が必要ななら、1), 2), 3) などとする。ともに 10 pt の MS ゴシック + Arial にする。
- * 図表は次のように記載する。
 - ・前後を 1 行あける（本文との区別明確にするため）

- ・キャプション（図表タイトル）は，表は上につけ，図は下につける．
- ・キャプションの図表番号は，図 1，図 2，表 1，表 2 と，9 pt の MS ゴシック + Arial にする．
- ・キャプションの本文は，9 pt の MS 明朝 + Times New Roman にし，本文と切り離してもそれだけで意味が通じるようなものにする．
- ・図表の大きさは，2 段組か 1 段組のどちらかとする（1 段組にした場合に，余白に本文を記載しない）．

* 参考文献の引用について

本文中の引用箇所の右肩に右片括弧つき数字で 1/4 角により引用文献番号を表示すること．

例： 文献の引用を記した様式^{1), 2), 3)} についてはいろいろなものが……

引用文献リストは「6．参考文献」に，9 pt の MS 明朝 + Times New Roman で記載すること．形式は，次のようにする．

雑誌 引用番号 著者名：引用論文表題，掲載誌名，巻（号），ページ（発行年）

例 1) 日高俊隆：文献の引用に関する研究，文献図書科学，36(11)，225-229（1930）

2) T. Hidaka: Referring References, *Book Sciences*, 28(4), 1305-1309（1945）

注意）共著者が 2 名のときは 2 名を「，」区切りで記し，3 名以上のときは第一著者名・他，または "Author et al." と記載する（著者名に関しては以下，同様）．またページは単数ページの引用が "p.220"，複数ページの引用が "pp.220-223" ．

単行本 引用番号 著者名：書名，引用ページ，発行所（発行年）

例 3) 日高俊隆：文献の利用法，pp.229-233，県大出版会（1999）

4) T. Hidaka: How to use References, pp.215-219, Academic Press（1998）

事典類 引用番号 書名，発行所（発行年）

例 5) 平凡社百科大事典，平凡社（1990）

新聞記事 引用番号 新聞社名（支社），日付 第何面

例 6) 読売新聞（滋賀），2001-02-07 朝刊 17 面

私信等（手紙，電話，会話などで個人的に入手した情報の場合） 引用番号 相手名，日付，私信

例 7) 井手慎司，1998-12-08，私信

Web サイト 引用番号 サイト運営（作成）者名：ページ（記事）タイトル <URL>，情報入手日

例 8) 地球環境情報センター：データ

< <http://www.geic.or.jp/choco2/member.html> >，2002-11-07

注意）URL には見にくいので下線はつけない．

電子メール 引用番号 差出人名 <差出人の電子メールアドレス>：Subject，日付，種類（私信，メーリングリスト，公式文書など）

例 9) 井手慎司 <ide@ses.usp.ac.jp>：RE: 質問，1998-12-08，私信

3．発表用電子媒体の提出

発表用の PowerPoint ファイルは，ゼミごとに USB メモリーあるいは CD など電子媒体に収録し，B1-206 研究室へ提出すること．提出日時は 2010 年 9 月 20 日（月）13:00～15:00（厳守）とする．（今年は提出日時が祝日にあたるため）この時間帯に提出できないゼミは，事前に香川まで連絡すること．締め切りまでの時間であれば，メール添付ファイル（komeno@ses.usp.ac.jp および kagawa@ses.usp.ac.jp 宛）での提出も認める．ただし，添付漏れや誤送信の場合があるので，必ず受信通知メールを確認すること．なお，ソフトとしては MS PowerPoint 2007 を用意する．

4．発表順序

別途通知する．

就職活動等のやむを得ない理由を持つ学生は，事前に指導教員を通じて 4 回生担任まで可能な発表日と時間帯を申し出ること．

2010年度 卒業研究第二回中間発表会 発表順

9月21日(火) : 交流センター研修室

9月22日(水) : 交流センター研修室

時限	発表学生	所属ゼミ
3時限	伊藤 優希	秋山
	河原田 陽介	秋山
	坪田 恭平	秋山
	早川 若葉	秋山
	三和 洸	秋山
	中山 南美	秋山
	尾嶋 友美	鵜飼
	小田井 淳子	鵜飼

時限	発表学生	所属ゼミ
3時限	川口 茉希	井手
	川津 優貴	井手
	阪井 紗代	井手
	田村 翔	井手
	中井 栄緒	井手
	稲葉 孝文	井手
	入江 紗恵子	近藤
	中村 友子	近藤

4時限	鎌田 遥香	鵜飼
	島 由弥	鵜飼
	三田 恵理子	鵜飼
	尾形 文章	鵜飼
	石原 誠太郎	香川
	清山 風人	香川
	西岡 直祐	香川
	西崎 圭祐	香川

4時限	倉田 佳久	近藤
	森 愛実	近藤
	大松 麻未	高橋
	岡 卓也	高橋
	辻 圭祐	高橋
	林 直哉	高橋
	山崎 啓太郎	高橋
	辻 葵	富岡

5時限	日比 大希	香川
	山田 晴人	香川
	北 朋子	金谷
	鈴鹿 友之	金谷
	二宮 健太	金谷
	波田埜 琢士	金谷
	森 万由香	金谷
	吉岡 智美	金谷

5時限	菱谷 昌弘	富岡
	教員からの全体コメント	